

2025_0212 「これぞオーロラというオーロラ (写真)」日々の理科 3842 号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

昨年から今年にかけて、多くの黒点が恒常的に出現し、太陽活動が活発な状態が続いています。オーロラの明るさや形状なども、すべて太陽活動の活発さに依存します。1月下旬から2月に入ってから、すばらしいオーロラが連夜出現しています。

オーロラと聞くと「カーテン状にゆれる姿」を思い浮かべると思います。この日も「これぞオーロラというオーロラ」が出現しました。この写真を撮ったカメラが設置してある「ポルユス駅」は、恐らく「世界一オーロラがよく見える駅」なのですが、残念ながらこの日は観望者の姿は見えませんでした。

(2025年2月上旬/スウェーデン・ヨックモック郡・ポルユス/東京から遠隔観測)

